

科目名	プログラミングⅣ	英語科目名	Programming Ⅳ		
開講年度・学期	平成 28 年度・後期	対象学科・専攻・学年	電気電子創造工学科・3 年		
授業形態	講義	必修 or 選択	必修		
単位数	1 単位	単位種類	履修単位		
担当教員	飯島 洋祐	居室（もしくは所属）	電気電子創造工学科棟 3 階		
電話	内線 262	E-mail	yijima@小山高専ドメイン		
授業の到達目標		授業到達目標との対応			
		小山高専の 教育方針	学習・教育到達 目標 (JABEE)	JABEE 基準	
		(1) アセンブラプログラムの考え方が習得できる。	⑤	—	—
		(2) アセンブラを通してコンピュータの仕組みが理解できる。	⑤	—	—
		(3) CASL の基本的なプログラミングができる。	⑤	—	—
(4) アセンブラ言語を利用した応用的なプログラミングができる。		⑤	—	—	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法					
・ 中間試験、定期試験と実習課題および課題レポートによって評価する。 達成目標 (1) ～ (4) : 中間試験および定期試験の成績、実習課題の達成度とレポート提出率の総合で評価する。					
評価方法					
下記のとおりに総合して評価する。 ・ 中間試験と期末試験の 2 回の成績の平均 (70%) ・ 授業時の課題達成度 (15%) ・ レポート提出 (15%)					
授業内容					
第 1 週目 ガイダンスおよびアセンブラ言語とコンピュータ					
第 2 週目 アセンブラ言語のプログラミングの基礎 (1)					
第 3 週目 アセンブラ言語のプログラミングの基礎 (2)					
第 4 週目 記憶装置の使い方 (1)					
第 5 週目 記憶装置の使い方 (2)					
第 6 週目 演算処理 (算術処理)					
第 7 週目 演算処理 (論理演算)					
第 8 週目 中間試験					
第 9 週目 演算処理 (シフト命令)					
第 10 週目 条件分岐処理 (1)					
第 11 週目 条件分岐処理 (2)					
第 12 週目 繰り返し処理					
第 13 週目 副プログラム					
第 14 週目 総合演習 (1)					
第 15 週目 総合演習 (2)					
定期試験					
キーワード	CASL、COMET、アセンブラ、情報処理技術者試験				
参考書	浅井宗海、岸田徹夫、尾川順子、「プログラミング入門 CASL II」				
カリキュラム中の位置づけ					
前年度までの関連科目	プログラミングⅠ、プログラミングⅡ				
現学年の関連科目	プログラミングⅢ				
次年度以降の関連科目	デジタル回路				
連絡事項					
・ 授業の終わりに、次回授業の範囲等を説明する。 ・ 前回の授業までの復習と、事前の予習を行っている事を前提に授業を進めるため、予習・復習をしっかり行うこと。 ・ 課題等については、図や文章を丁寧に書くこととし、読めないものはレポートとして認めない。					
シラバス作成年月日	2016 年 2 月 29 日作成				